



PROFILE

菅原 望

Nozomu Sugawara

宮城県仙台市出身。第8回ショパン国際ピアノコンクール in Asia 銀賞、第1回横浜国際音楽コンクール第2位、第8回大阪国際音楽コンクール第3位、第52回全東北ピアノコンクール第2位など、幼少より数多くのコンクールに入賞。第31回ピティナピアノコンペティション連弾部門において最優秀賞（最高位）ならびに洗足学園前田賞、ANA賞受賞、第36回ピティナピアノコンペティション特級部門においてグランプリ、ならびに文部科学大臣賞、東京シティフィル賞、王子ホール賞、読売新聞社賞、学生審査員賞の各賞を受賞。

海外ではハンガリー（ジョルジュ・シフラフェスティバル）、オーストリア、ポーランド（ナウンツェフ音楽祭）等多くの音楽祭や演奏会にピアノソロ、室内楽、ピアノ協奏曲で出演し好評を得る。

これまでに パスカル・ヴェロ、山田和樹、山下一史各氏指揮の仙台フィルハーモニー管弦楽団、ダグラス・ボストック指揮の芸大フィルハーモニア、岩村力指揮の東京フィルハーモニー交響楽団、宮本文昭指揮の東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共演。また、組曲「宿命」～映画「砂の器」公開40周年記念～において、西本智実指揮、イルミナートフィルハーモニーオーケストラと共演。ハンガリーにおいて金井俊文指揮のドナウ交響楽団、国立歌劇場ファイローニオーケストラと共演。

これまでに 伊東ゆかり、大石祥之、手塚真人、尾形牧子、高田匡隆、下田幸二、赤松林太郎、角野裕各氏に師事。その他ピオトル・パレチニ、エンリコ・パーチェ、アンドレア・ボナッタ氏他、様々なマスタークラスやレッスンを受講。

常盤木学園高等学校、東京藝術大学、同大学院を修了。大学卒業に際し同声会賞、芸大クラヴィーア賞、アカンサス音楽賞を、大学院修了に際し芸大クラヴィーア賞、大学院アカンサス賞を受賞。

大学院修了後、ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽院に留学。コンチェルト5曲など最高難度の課題を持つ One year Piano Soloist Course にその年度唯一の合格者として入学。最高評価を得てディプロマ取得。ドラフィ・カールマン、ジョルジュ・ナードルの各氏に師事。ピアノソロだけでなく、連弾、二台ピアノの演奏も定期的に行い、他の楽器との共演も多い。

現在は、演奏とともに東京藝術大学音楽学部ピアノ科非常勤講師（2018～）、常盤木学園高等学校音楽科非常勤講師（2017～）として日本全国に渡り後進の指導に力を入れている。各地での公開講座やレッスンの他、審査員なども務める。

宇都宮短期大学および附属高等学校音楽科非常勤講師。

PROGRAM

ドビュッシー ベルガマスク組曲より「月の光」

ラヴェル マメールロワ(シャーロットによるピアノ独奏版)

セヴラック 演奏会用華麗なるワルツ「ペパーミントジェット」

～ 休 憩 ～

ラフマニノフ 前奏曲嬰ハ短調op3-2「鐘」

ラフマニノフ 交響曲第2番ホ短調op27第3楽章「アダージョ」
(キルコールによるピアノ独奏版)

リスト 死の舞踏s.525(ピアノ独奏版)